



自動車産業活性化のための人材育成セミナー



～AHRDA OPEN HOUSE HRD TALK の開催～

自動車人材育成アカデミー（アダー）、（AHRDA: Automotive Human Resource Development Academy）は、新年度に入り様々な新しい試みを行っている。その一つとして12月7日（木）、標記のセミナーを開催した。セミナーの趣旨は中小自動車部品製造業の人材育成担当者に教育訓練の必要性を知ってもらうことで、アダーの訓練セミナー年間計画の紹介と受講により期待される効果などを説明した。また技能検定試験導入が企業にもたらす効果を説明した。アジェンダは、アヌーシャ所長から PDCA サイクル手法による人材育成、DENSO ナタポーン氏と AHRDA テーラサック氏による AHRDA のセミナー紹介と人材育成の必要性について、JICA 派遣専門家による日本の技能検定の紹介と国家技能検定受検がもたらす効果、メリットを経営者側、従業員側の立場で説明した。午後からは、構内の見学と質疑応答、アンケート調査の記入をし終了した、今回45社、約60名の参加があった。アンケート調査結果、コメントの中には、セミナー受講について検討すること、日本の技能検定と企業への導入事例紹介に多くの参加者が興味を示してくれた。今回シーケンス制御の検定職種についても紹介したが、DSD では他に多くの職種の技能検定職種を実施しているので、情報を提供することにより各企業で検討してもらうことやセミナーを受講し、技能検定を受検する流れを作りたいなどの意見があった。また今後も講習会を継続して開催してほしい旨の要望もあった。企業経営者や人材育成担当者の理解が結局は国家技能検定受検者の増加につながると考えるので要望に沿って継続していきたい。（文責：尾崎正人）



AHRDA OPEN HOUSE HRD TALK のポスター



会場に集まった企業のHRD担当者



新セミナー-SUPER BLUE COLOR の紹介



技能検定がもたらす効果について説明